

No.	1	学年	小 6
-----	---	----	-----

区分	遺跡	備考	三内丸山遺跡（切り絵作品）
----	----	----	---------------



作品名	縄文人の浪漫
この作品で 伝えたいこと	三内丸山遺跡のくらしの風景をかきました。初めて三内丸山遺跡に行ったとき、こんなに大きな集落があったことに感動しました。 今までいろいろな縄文体験をしました。小さな布を編むのにとても時間がかかったり、土器は形がくずれやすくて苦労したり、石器で魚をさばくと切れ味があまりよくなくて力が必要だったりして、昔の人のくらしの大変さがわかりました。 そういう縄文人の知恵のすばらしさがわかる青森県の縄文遺跡群の魅力を世界にも伝えたいです。

【審査員コメント】

- ・切り絵の技法がよく活かされ、白黒線の美しい作品である。内容も丁寧である。
- ・切り絵で細部まで表現できているのが「すごい！」と感激。縄文の生活の音が聞こえてきそうな作品。
- ・縄文人の手でつくる営みが力強く、丁寧に描かれている。画面構成も確かな手応えのようなものを感じさせてくれる。画面の遠近感が絵を重厚にしている。

No.	2	学年	中 3
-----	---	----	-----

区分	遺跡	備考	三内丸山遺跡
----	----	----	--------



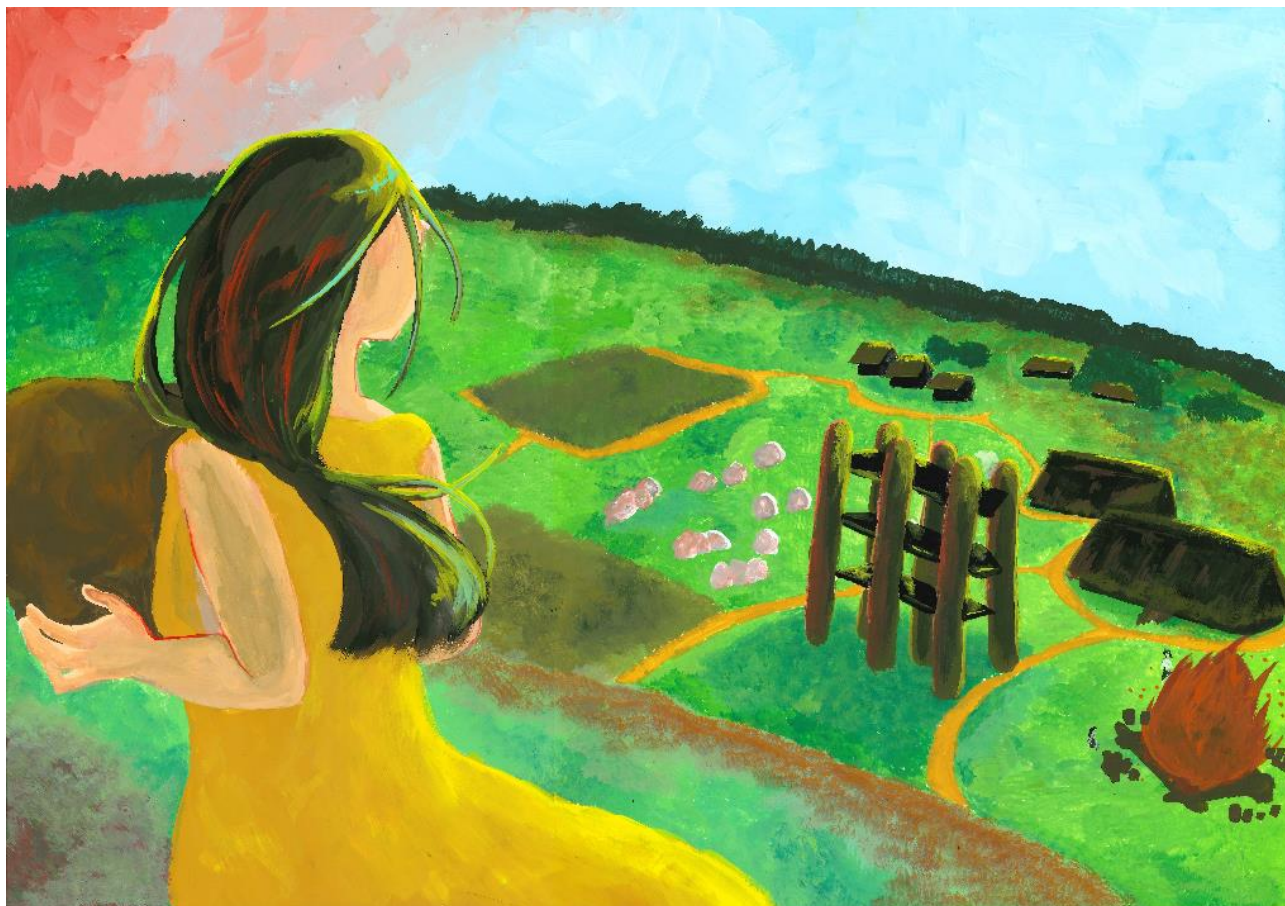
作品名	三内丸山遺跡の風景
この作品で 伝えたいこと	三内丸山遺跡の広さと、自然の豊かさを、 空の青さと緑の多さで表現しました。

【審査員コメント】

- ・単純化された構図、内容が効果的である。平面表現もわかりやすく、さわやかな絵となった。
- ・「掘立柱建物」等なんとも、のんびりしていて気持ちがいい。この絵の力強さに説得力がある。光と影の捉え方が魅力だ。

No.	3	学年	高 1
-----	---	----	-----

区分	遺跡	備考	三内丸山遺跡
----	----	----	--------



作品名	変わらない いつもの朝
この作品で 伝えたいこと	縄文時代の生活風景を想像して描きました。 少し赤くなっているのは朝焼けです。

【審査員コメント】

- ・縄文遺跡は普通の人達の普通の暮らしの跡なので、テーマに共感を覚える。

No.	4	学年	小 2
-----	---	----	-----

区分	くらし	備考	是川石器時代遺跡
----	-----	----	----------



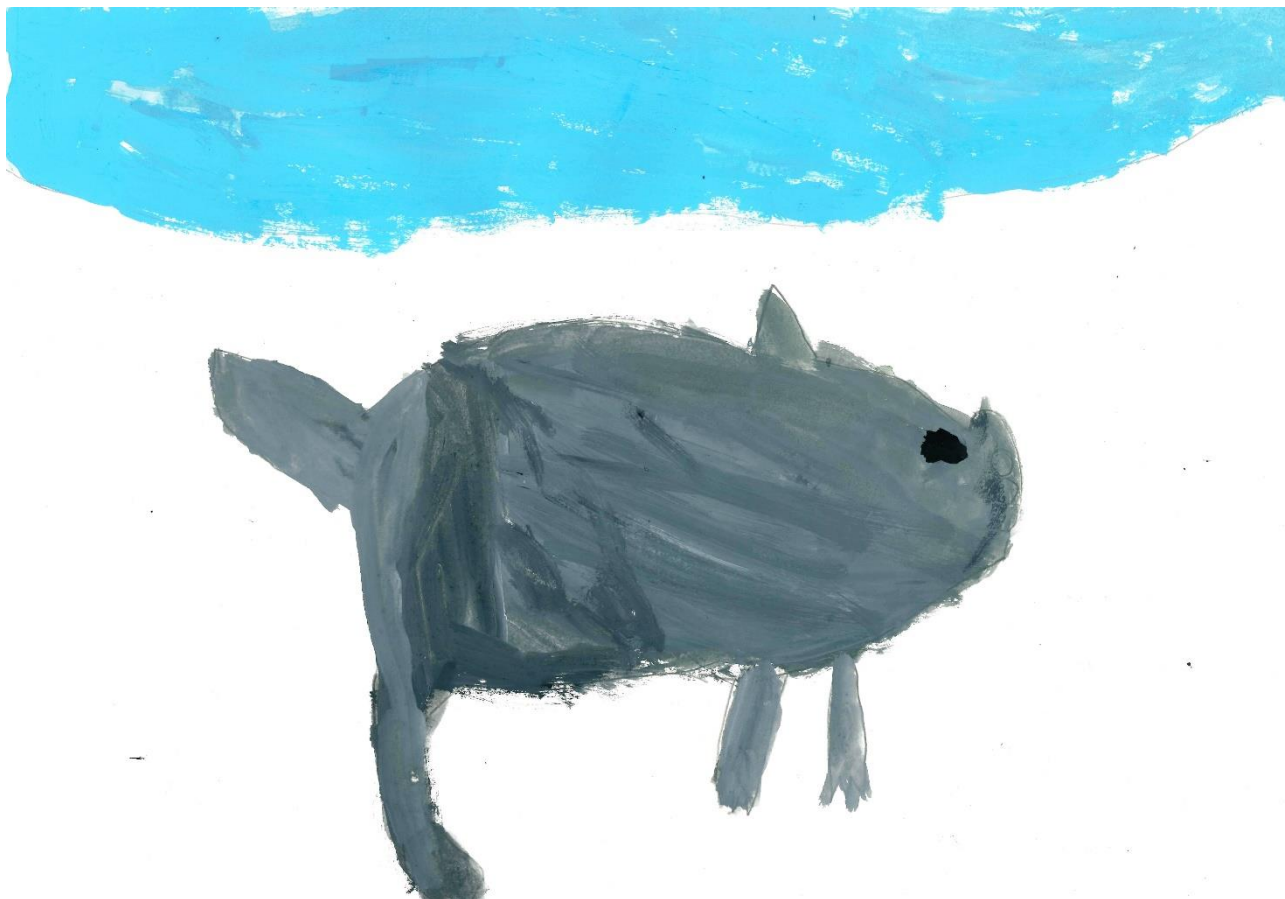
作品名	ものおくり
この作品で 伝えたいこと	縄文人が、つかいおわったものや大切にしているものを、 土や川に返すところを描きました。 是川縄文館でスケッチするのが楽しかったです。

【審査員コメント】

- ・「送り」が具体的によく描かれている。
- ・見ていてわくわくする。楽しさが伝わってくる。
- ・細部まで細かく丁寧に描いていて、楽しみながら物を大切にしていることが伝わってくる。

No.	5	学年	小 2
-----	---	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	むかしの かわいい イノシシ
この作品で 伝えたいこと	イノシシがかわいいなと思ったからです。

【審査員コメント】

・イノシシー頭、現代の私たちに何かを呼びかけているような力強さを感じる。シンプルで強い！

No.	6	学年	小 2
-----	---	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	おかあさんと おしゃれ
この作品で 伝えたいこと	遺跡を見に行ったときに、縄文時代のいろいろなアクセサリーを見つけました。 縄文時代の女の人も、今と同じようにおしゃれをしていたんだなあと思って描きました。

【審査員コメント】

・縄文というテーマでアクセサリーに注目した点がとても新鮮。表情も豊かで楽しさが伝わってくる。

No.	7	学年	小 6
-----	---	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	しかがり
この作品で 伝えたいこと	縄文時代は、シカとかの肉を狩るのが大変だと思うので、それを作品にしました。

【審査員コメント】

- 画面いっぱいに漂う迫力ある猟の空気感を存分に発揮している。絵画表現「狩の風景」としてロマンを感じさせる。
- 縄文人のくらしが、人物表現や動きに実感的に描かれている。表現力も高い。

No.	8	学年	中 1
-----	---	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	豊漁の喜び
この作品で 伝えたいこと	縄文の頃の是川は今よりも海に近く、山の幸だけではなく 海産物もたくさん出土しています。 豊漁の日の縄文人の喜びを、私の好きな土器と土偶を使い、 想像して描きました。

【審査員コメント】

- ・バランスのよい色相で深く丁寧に描かれている。豊漁の豊かな食のくらしが実感される。
- ・色が鮮やかで印象的(海の幸、土偶のたたずまい、アクセントの赤)。

No.	9	学年	中 2
-----	---	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



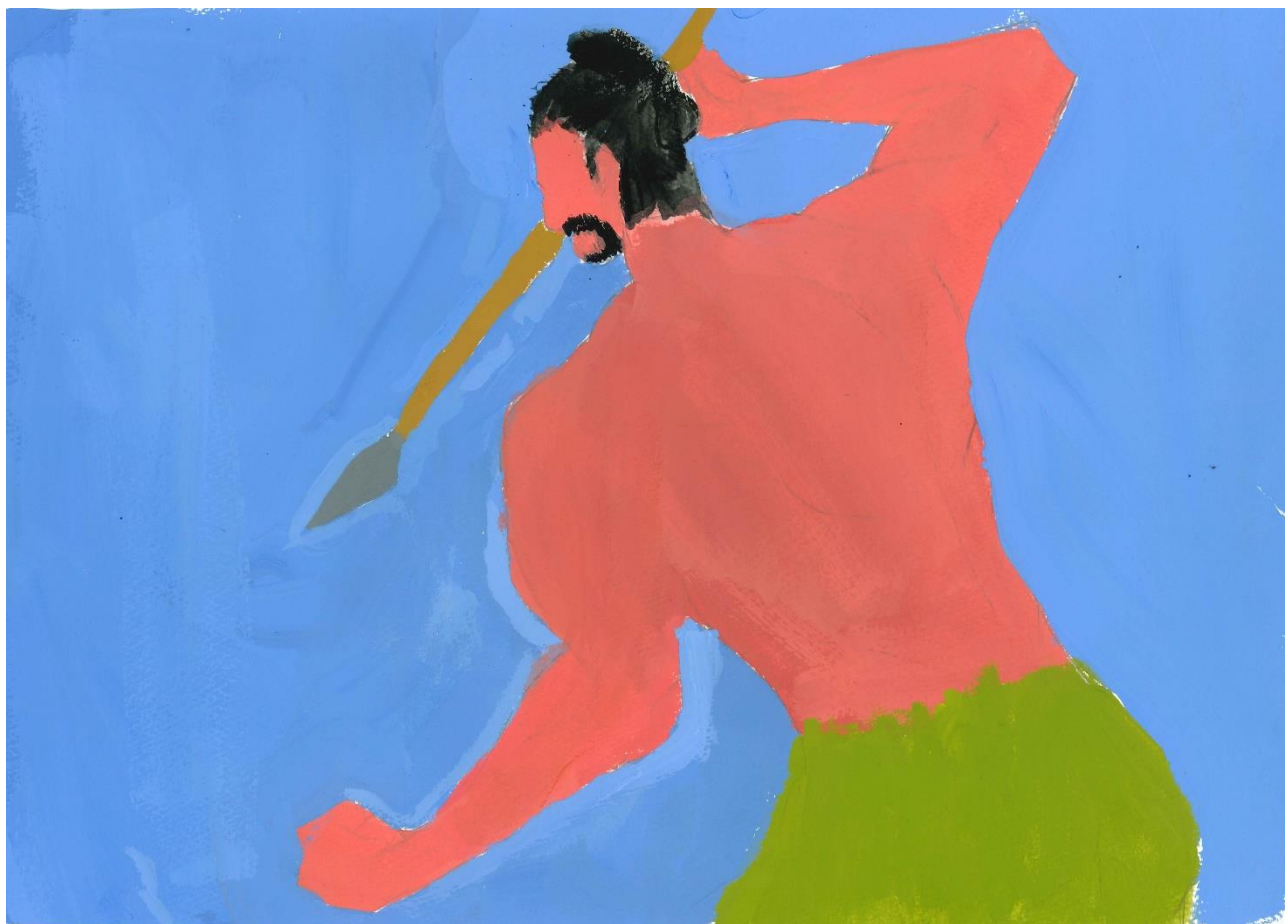
作品名	マンモス
この作品で 伝えたいこと	昔の人の生活を再現して過酷さを伝えたい。

【審査員コメント】

- ・象の振り上げた鼻が力強い。グリーン色の不透明絵の具とその下に描かれた薄青が効いている。人をもっと多く描き群像にしてもよかった。

No.	10	学年	中 2
-----	----	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	狩人
この作品で 伝えたいこと	縄文時代の人々は、薄着で夏や冬、季節に関係なく狩りをしているイメージがあります。 僕の作品は、そんな厳しい環境の中、日焼けしている分厚い背中をした狩人を描きました。

【審査員コメント】

・シンプルだが分厚い背中から縄文の生活の厳しさと力強さが伝わる作品。

No.	11	学年	中 2
-----	----	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	親子の絆
この作品で 伝えたいこと	いつの時代も、大切な人といるときは、 幸せな気持ちになること。

【審査員コメント】
・笑顔が素敵

No.	12	学年	中 2
-----	----	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	縄文の世界 ～古き良き時代～
この作品で 伝えたいこと	三内丸山遺跡の魅力や、縄文時代の世界観を 全面的に伝えたかった。

【審査員コメント】

- ・現代っ子の視点で縄文人のファッションブル性をほほえましく伝えている。文化性もわかる。

No.	13	学年	中 3
-----	----	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	土器を作る人
この作品で 伝えたいこと	この絵で縄文人が作る縄文土器の難しさやすばらしさを描いてみて、改めて感じました。 縄文土器という大昔のものが残っていることが当時の様子を想像できて楽しかったです。

【審査員コメント】

- ・集中して真剣に作っている場面が伝わってくる。
- ・土器作りに集中する静かな空気感が伝わってくる。

No.	14	学年	高 1
-----	----	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	土器と縄文
この作品で 伝えたいこと	土器とともに生きた縄文の人々の自由な暮らし

【審査員コメント】

- ・構図に工夫が感じられ、実際に縄文の生活を覗いている感じがする作品。

No.	15	学年	高 1
-----	----	----	-----

区分	くらし	備考	
----	-----	----	--



作品名	人
この作品で 伝えたいこと	真ん中にある青い勾玉は「子どもや赤ちゃん」を表しました。 そして、自分の子を包み込むように大きな手の持ち主は母か父です。 大きな目は、子や自分やムラの人たちに災いがないように見守る人々の思いを込めました。 下にあるオレンジの太陽は未来を照らします。

【審査員コメント】

- ・人をユーモアいっぱい宇宙人のように色彩豊かに抽象化している。背景は線で埋め尽くし特異で細やかな表現である。

No.	16	学年	小 2
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



作品名	どくうさんに おねがい
この作品で 伝えたいこと	青森県にはたくさんの縄文遺跡があります。 わたしがいろいろな縄文遺跡に行ったとき、その場所によって違う、いろいろな形の土偶を見て、とてもおもしろいなと思って調べてみると、縄文時代の人たちが土偶に祈りを込めていたのではないかとわかって、わたしが見た土偶と、縄文時代の人たちを描きました。 もっといろいろな土偶を見たいです。

【審査員コメント】

- ・作者が一所懸命書いている姿が目につく。
- ・鮮やかな色合いが目立つ。ほのぼのとした作品。

No.	17	学年	小 4
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



作品名	だいすき縄文時代!!
この作品で 伝えたいこと	茶色が多い中で土偶や土器を目立たせる影や色合いを変えていくことを努力しました。 縄文時代だいすきです。

【審査員コメント】

- ・出土品一つ一つの特徴を捉え、微妙な色彩の工夫をして、縄文の雰囲気をよく表現している。
- ・力強く、縄文のイメージが重なる。

No.	18	学年	小 5
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



作品名	亀ヶ岡の美 ～クール・シャコ・ジャパン～
この作品で 伝えたいこと	シャコちゃんの大きい目や、うずまき文様がとてもかっこいいです。 他にも、あさばち（浅鉢）形土器のはっきりしている赤うるしと黒うるしの色がステキです。 世界の人々にこの文化を伝えたいです。 縄文晩期にタイムスリップしていっしょに作ってみたいです!!

【審査員コメント】

・うるしの赤い色が印象的。

No.	19	学年	小 6
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



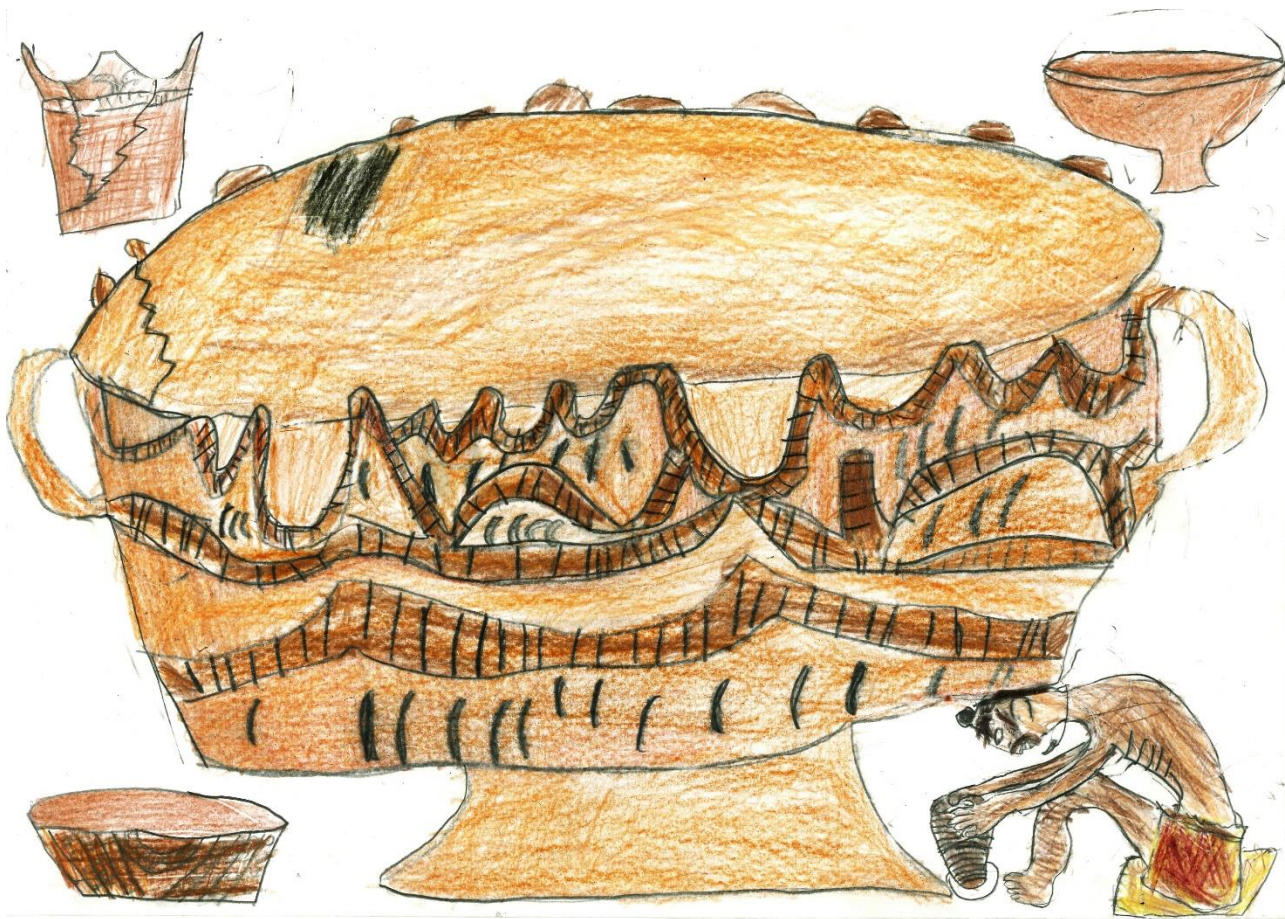
作品名	土の中から
この作品で 伝えたいこと	昔からきれいに立体をつくるのは難しかったです。 完全な形で残っていたのは不思議と思いました。

【審査員コメント】

・遮光器土偶の顔を画面いっぱいに繊細に描き、現代人の我々に縄文の不思議さと美しさを気づかせてくれる絵だ!見事。絵画的。

No.	20	学年	小 6
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



作品名	大昔の傑作品
この作品で伝えたいこと	縄文時代の土器職人はこのような難しい土器を作っていたと思うと、ものすごく上手だと思いました。

【審査員コメント】

- ・縄目の文様が象徴的に大胆に描かれ、メッセージ性が高い。作者の感動も伝わる。
- ・土器をよく観察し、特徴を捉えて描いている。

No.	21	学年	小 6
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



作品名	よみがえる土偶
この作品で 伝えたいこと	長い時をこえて地面から姿を現す、 遮光器土偶のことを伝えたいです。

【審査員コメント】

- ・遮光器土偶の肩から顔を画面いっぱいに描き、なにやら記憶(時間)のようなものまで浮遊しており、とてもファンタスティックな絵だ。

No.	22	学年	中 3
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



作品名	土偶が見た縄文の暮らし
この作品で 伝えたいこと	縄文と言えば土偶のイメージが強いです。 その遮光器土偶を全面的に描きました。

【審査員コメント】

- ・土偶が存在感あり、表情もあるように感じられる。

No.	23	学年	中 3
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



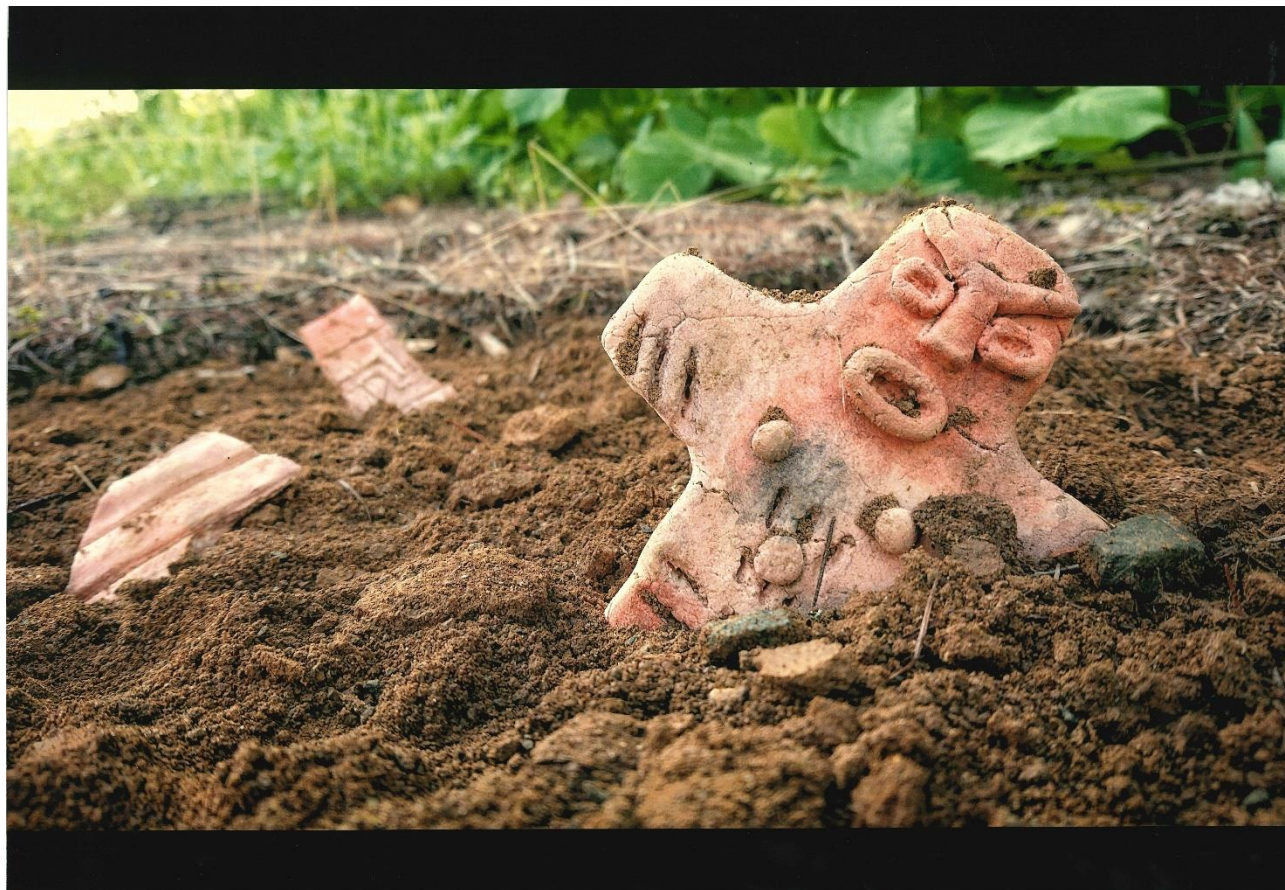
作品名	土偶と縄文の世界
この作品で 伝えたいこと	土偶の可愛さや縄文時代の自然の素晴らしさを 表現しました。

【審査員コメント】

- ・やわらかい美しい色調に惹かれる。色鉛筆の特徴を活かし一筆一筆心をこめて描いている。
- ・色鉛筆の線がとても綺麗で濃淡のつけ方も工夫されていて秋の哀愁の中に暖かさが感じられる。

No.	24	学年	高 2
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	(写真作品)
----	-----	----	--------



作品名	発掘？板状土偶
この作品で 伝えたいこと	板状土偶を、粘土と絵の具を使って自分で作ってみました。 気分は縄文人でした。

【審査員コメント】

- ・手法が斬新であり、当時の場面がよく再現されている。

No.	25	学年	高 2
-----	----	----	-----

区分	出土品	備考	
----	-----	----	--



作品名	JOMON☆SHINE
この作品で 伝えたいこと	土偶の見た目がなんだかすてき、と思ったのがこの絵を描いたきっかけです。 上半分では形に秘められたかわいさやユニークさをイメージし模様にして、下半分では縄文土器からあふれ出る力強さをツートンカラーでおしゃれさも出しつつ表しました。

【審査員コメント】

- ・神秘的。土偶が浮き上がって迫ってくる感じがする。
- ・色数を少なくすることで、グラデーションが効果的に使われ謎めいた雰囲気が感じられる。